

# NEW MERCHANDISE

## 新製品紹介

### トリオの ST プレーヤー・システム PC-350

ベルト・アイドラー・ダブル・ドライブ方式という高級シリコン製ベルト（両面超精密研磨，8mm幅）と大型アイドラー（直径80mm）を組合わせて完成したもので，ベルト・ドライブとアイドラー・ドライブの両方の長所を生かし，プレーヤー・システムの理想である完璧な定速回転と高S/Nを目標としている。また，4極シンクロナス・モーターを使い，モーター自身から出る振動を少しでも改善するために電源電圧を少し下げて駆動しているのでS/Nの改善に大きく効果をあげている。ターンテーブルは32cm・3kgの大型で理想的なフライホイール効果をあげている。センター・シャフトも新開発されたもので，材質には磨擦の少ないステンレス鋼，また軸受け底部には4mm厚のポリウレタンが埋込まれていてモーターの振動を吸収する設計になっていて，完全密閉された軸受部には潤滑油として二硫化モリブデンが使用されている。周波数の切替は簡単なレバー切替で50/60Hzが使える。回転数は33 $\frac{1}{3}$ と45rpmの2スピード，ワウ・フラッターは0.065%以下，S/N 38dB以上，トーンアームはスタティック・バランス型，カートリッジはMM型，周



波特性は15~21,000Hz，出力バランス $\pm 1$ dB以内，チャンネル・セパレーション28dB以上（1000Hz），インピーダンス1.8k $\Omega$ ，針圧2~3gr，針先0.5ミル，外形寸法は幅460×奥行410×高さ180（mm），重量は10.5kg。現金正価は¥38,800。

（東京都渋谷区渋谷1-6-5，Tel: 400-7171）

トリオ K. K.

### ソニーのマガジンマチック Pen

先月号でエレクトレット IC マイクロホンをご紹介したが，本機はそのマイクを内蔵したテープレコーダー TC-1160型である。このマイクは振動板に新開発の特殊フィルムを使い，FETとICを組合わせたコンデンサー型で非常に高性能（いつでも最適状態で録音）をそなえ，また内蔵されているのでマイクを意識することなく気軽に録音ができる。また，特に離れた所の音を録音する場合にはリモコン可能な外部マイクが使えるようにジャックがついている。操作はすべてピアノ・キー式で機能的に配設しており，ムダな突起物はいっさい省いて持運びにも便利である。ソニーのマガジン・テープ“オートセンサー”（導電箔つき）を使えば録音中にテープが終ると自動的に警報音が鳴り出すようになっている。10cmのスピーカーを使い最大1W以上の出力で余裕のある音が楽しめる。電源は単二×4のほか，ACも，別売のバッテリー・コードを使って自動車バッテリーからも，と4方式に使うことができる。

使用半導体はTr 9個，D 6個，IC 1個で，モノラル2トラック1チャンネルである。テープ速度は4.8cm/s，周波数特性は50~10,000Hz，ワウ・フラッター0.28%，S/N 45dB，消費電力AC 3W，DC 2W，外形寸法は幅255×高さ82×奥行182（mm），重量2.1kg（電池



とも）。現金正価は ¥22,500。

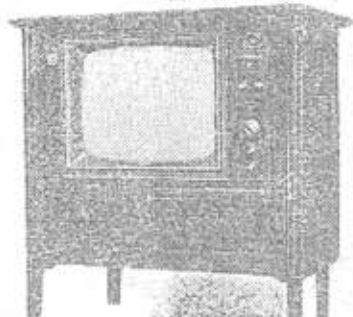
（東京都品川区北品川，Tel: 442-5111）

ソニー K. K.

### コロムビアの新製品

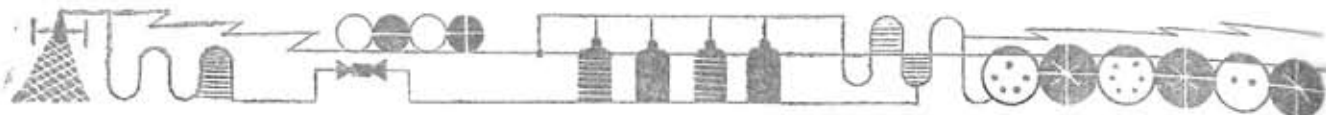
#### ☆ 19型カラー受像機

同社が前に発表した〈肌色コントロール〉装置を採用した“世界シリーズ”の第2弾として写真にのらんのようなBC-71A型を出した。この肌色コントロールというのは，肌色をより美しく鮮やかにするツマミで，従来肌色はTINTで調節していたが，この場合は他の色相までくずすおそれがあったが，その欠点を排除して肌色の微調整ができるようにしたものである。また迫力あるカラー画像を再現するために，IF増幅を4段に，映像増幅を3段に，帯域増幅を2段という，同社のいわゆる4・3・2システムにより高感度，広帯域増幅を行なっている。また同社の特別設計になる高出力管10LE8により3原色のバランスの良い画像を得ている。その他ワン・タッチで適正調整するファイン・チューニング方式，テレビ専用のスピーカー16cm×2，12cm×1の3ウェイ・システムなどいろいろの特長を有している。音声出力は3W，消費電力は305W，外形寸法は幅860×高さ880×奥行595（mm），重量51kgである。現金正価は ¥179,000。

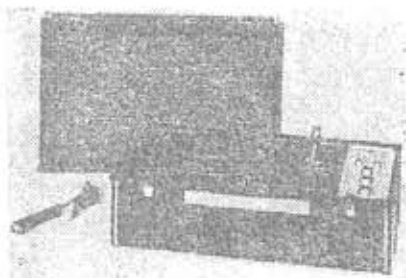


#### ☆ ホータブル・ステレオ 2180

最近では体操や遊戯の練習または講演・講義などでホータブル・ステレオ音響装置が広く使われるようになったが，これ



はレコード演奏と同時にマイクを通じて細かい説明や指導ができる便利さからであろう。本機はステレオ・プレーヤー付きのボックフル装置で、FMチューナーの使用可能、ヘッドホン、コンサート用SP使用、DIN端子を使つてのテーブの録音再生が可能、ローインピーダンス・マイクがもう1本使用可能といった特長をもち、モノでは定格12W、ステレオでは7W×2(5%, 1kHz)である。SPは16cm筒型が内蔵(1個はフタの方に)されている。外形寸法は幅460×高250×奥行290(mm)で、重量は12kg。現金正価は¥38,500。



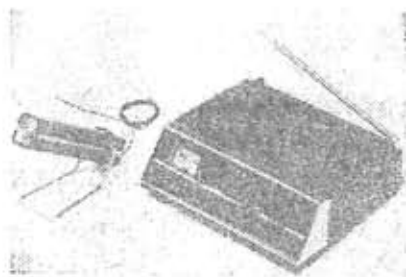
(東京都港区赤坂4丁目, Tel. 584-8111)

日本コロムビアK.K.

### アイワのワイヤレスマイク/受信機

ワイヤレス・マイク WM-209T とその受信機 WM-209R が新発売された。ダイナミック型マイク・ユニットを内蔵したFM変調方式のもので、プリアンプ・アンプ回路を含めた最新の回路により常に安定した至の少ない美しい音質が得られる。周波数特性も40~12,000Hzと秀れているのでボークル用としても使用できる。送信機、受信機ともに水晶を用い、周波数を固定したFM水晶制御方式を採用したのは世界ではじめての実用化であり、同調操作もまったくいらぬ。水晶の使用により不安定な回路素子を全く含まないため、電池電圧の変動や衝撃によるドリフトや周波数トビなどは起らない。またICを使用して小型にした結果、振動やほてりに強く、荷重の使用に十分に耐えるようになった。到達距離は150m以上もある。受信機をテープレコーダーと接続してリモコン録音用に、アンプと接続して拡声装置に広い用途をもっている。また、専用受信機を使用せずにFMラジオで81.36MHzに合わせて使

用することもでき、アイワ3バンド・ラジオ付カセット・レコーダー TPR-101を組み合わせれば受信音をスピーカーで聞きながらワン・タッチで録音ができる。



送信機の周波数は40.68MHz、最大周波数偏移±10kHz、周波数精度 $5 \times 10^{-4}$ アンテナは約1mのヒモ・アンテナ、出力電力約15mW、電源は9V(006P)。外形寸法は23×34×134mm、重量160gr(電池とも)。受信機は水晶制御のシングルスーパー、感度は40dB入力にてS/N 35dB、スケルチ感度20~30dB。リモートSW付(送信機電源SWのON-OFFにより開閉できる。スケルチ回路と連動)、アンテナは105cm ロッド。電源はDC 12V または AC 90~130V, 190~250V となっている。

価格は送信機が ¥9,000、

受信機が ¥23,000。

(東京都千代田区外神田5-2-3、

Tel. 833-1531)

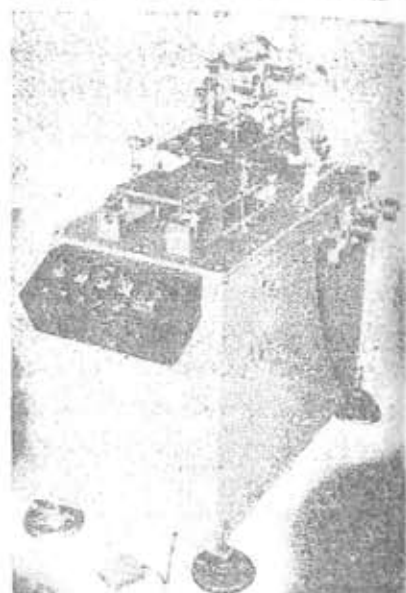
アイワ K. K.

### ニューロン L57A

#### スクリーン印刷機

プリント配線その他の製造を精密、短時間に失敗少なく、大量生産に適したもので、印刷速度が早く(平均3秒)、精度が高く(公差および繰返し精度±0.01mm)、短時間に段取りができるほか、操作容易、製品の均一、安全、信頼性、などの特長がある。

〔仕様〕 スクリーン枠: 150×220cm、印刷寸法: 50×50mm、吸盤寸法: 150×150mm、スキージー・ストローク: 0~100、印刷枚数: 900~1200/時、真空ポンプ: 500m/Hg, 40W 単相、機械寸法: 550×1000×1050cm、重量: 150kg、吸盤調整: 上下20mm、回転15°, 1/100ダイヤル・インジケーター; 前後±10mm、左右±10mm、ベルト・コンベ



ア: 80cm、長さ600cm、速度7秒、空圧源: 7kg/cm<sup>2</sup>、自動インキ供給装置、自動排出装置付、スキージー角度調整可能。

(東京都品川区西五反田7-4-6、

Tel. 492-7571)

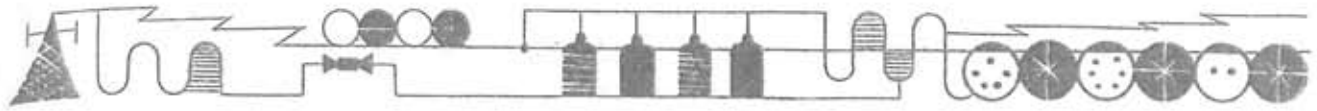
ニューロン精密工業 K. K.

### 松下通信の新製品

☆ PAL方式などのカラーTV用測定機器を新発売

オランダ・フィリップス社製品であるカラーTV用測定器全14機種、33品目を国内の総発売元として取扱ひ、本格的に発売を開始した。これらの機器は、西ドイツ、イギリス、オランダなどヨーロッパを中心に普及しているカラーTV放送の方式であるPAL(パル)方式(フィーズ・アルタネーション・バイ・ライン)のTV受像機、放送用機器の生産、研究開発、アフター・サービスに必要な測定器である。なお今回取扱う製品の中にはPAL方式用のほか、日本やアメリカなどが採用しているNTSC方式、イギリスやフランスで採用の同期方式用のものも含まれている。





新発売する品名は、カラー TV パターン信号発生器、テレビサービス・パターン信号発生器、テレビ・パターン信号発生器、プロフェッショナル・テレビパルス信号発生器、PAL カラーテレビ・サービスパターン信号発生器、カラーテレビ・パターン信号発生器、プロフェッショナル NTSC カラーテレビ・パターン信号発生器、NTSC カラーテレビ・エンコーダー、PAL カラーテレビ・エンコーダー、PAL カラーテレビ・サブキャリア信号発生器、テレビ IF 変調器、VHF UHF コンバーター、UHF 変調コンバーター、などである。写真はカラーテレビ・パターン信号発生器。

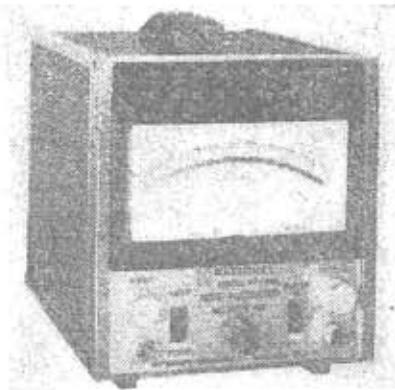
#### 自動エレクトロニック電圧計

##### VP-961A

交流用として我が国で初めての自動レンジ切換方式を採用したオール・トランジスターのミリボルト計である。従来、手動のロータリー・スイッチで電圧感度を切換えていたのを電子回路のリードリレーで自動的にレンジを切換えるようにしたもので、AC-DC 変換器、プリアンプ、さらに対数変換器としても使用することができる。スイッチ (AUTO) 操作ひとつで、人力信号がフルスケールをオーバーするときや少なすぎるときは、自動的にもっとも読み取りやすいレンジに切換わる。このために測定能率の向上はもちろん、これまでありがちだった指示計の指針を振切らせたりする心配もなくなっている。自動レンジを使用しない

場合は任意のレンジを固定して測定するスイッチ (HOLD) をワン・タッチで切換えられる。全トランジスター式なので、大きさは幅 150×高さ 158×奥行 170 mm、重量 3 kg と小型・軽量なものとなり、機械的接点などの磨耗部が少ないところから寿命の点でも飛躍的にのびて 3 千万回以上の接点連続テストにも耐え、また衝撃に強いトートバンド・モーターを採用したため操作性、信頼性も高まっている。

電圧測定範囲は 1・3・10・30・300 mV、1・10・100・300V フルスケール (12 レンジ)、デシベル測定範囲 -60・-50・-40・-30・-20・-10・0・+10・+20・+30・+40・+50dB (12 レンジ)、精度 ±3% (定格値に対し、1kHz において)、周波数特性 10Hz~1MHz ±10% (1kHz 基準) となっている。予定価格は ¥89,000。

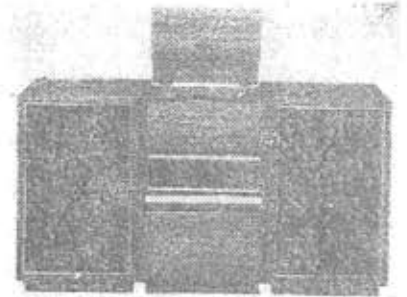


(横浜市港北区綱島 880, Tel. 045-531-1231)

松下通信工業 K. K.

#### 日本ビクターの SEA つきステレオ・システム SSL-89TS

音場補正のできるおなじみ SEA つきアンプと無振動 (ID) オートプレーヤー (31cm ターン・テーブル、アウトローター、33 $\frac{1}{3}$ , 45rpm, 1M カートリッジ) を組合わせてある。



アンプ部は FET 1 個を含めて Tr 27 個、D 16 個を使い、準コンプリメンタリー SEPP-OTL 方式で、ミュージック・パワー 17W×2、実効連続出力 13W×2 (歪率 1%, 1kHz)、S/N 60dB 以上となっている。FM マルチはバランス検波型スイッチング方式、セパレーション 35dB 以上、歪率 0.3% 以下。スピーカーは片側が 30cm、16cm、5cm、4cm の 4 ウエイでバスレフ型のキャビネットに入っている。再生周波数は 30~20,000Hz、全システムの外形寸法は高さ 780×奥行 390×幅 1490 (mm) で、重量は 60kg である。現金正価は ¥139,900。(東京都千代田区霞ヶ関 3 丁目 Tel: 580-0211)

日本ビクター K. K.

### お詫び

誠文堂新光社発行「最新ステレオ回路データ集」に掲載の私の記事のうち、SEA などについての解説を除いた部分に、某オーディオ専門メーカーが販売店ならびにサービスマン向けに技術向上を目的として発行されました教科書の内容を無断使用したところが多くあり、読者および前記教科書を発行されましたメーカーならびに原筆者にご迷惑をかけたことを、ここに深くお詫び申し上げます。

昭和 44 年 1 月 16 日

山口英彦

#### お詫び

上記の件について、読者及び前記教科書を発行されましたメーカー並びに原筆者に多大の御迷惑をおかけ致しました。ここに深くお詫び申し上げます。

誠文堂新光社